

漁業後継者意識調査について

昭和54年度に本県における漁業後継者対策事業の推進及び事業効果測定にあてるため、国が行う「漁業後継者意識調査実施要領」に基づき、漁業後継者世代の漁業に関する意識実態の把握を図る目的で、市町村各漁協のなかから任意に抽出し沿岸漁業者等488名を対象に調査を実施した。

1. 調査対象；漁村における40才未満の漁業後継者
2. 調査方法；漁業後継者意識調査表より主要項目のみ例記

(1) 後継者の就業内容

- ① 経営形態 ② 就業形態 ③ 主な漁業種類

(2) 漁業についてどう考えるか。

- ① 職業として ② 将来性について

- (3) 今後も漁業を続けるか。
- (4) 漁業を続ける場合、今の状態をどうするか。
- (5) 他の漁業に転換したい。
- (6) 習得したい知識や技能

3. 調査概要

調査を実施したのは沖縄本島地区4市8村256名、宮古地区1市2村74名、八重山地区1市158名であった。漁業後継者には女子も含まれているが今回の調査では女子を除き調査実施数299名で、母集団488名に対し抽出率は61.3%に達し、当初の予想を超える成果を得た。

それぞれの調査地域の項目概要は別表のとおりである。

表：1 後継者意識調査表（県全体）

1. 後継者の就業内容

(1) 経営形態	専業 198 (75.6)	兼業 64 (24.4)	計 262 (100)
(2) 就業形態	自営 171 (65.3)	雇用 91 (34.7)	計 262 (100)

(3) 主な漁業種類

釣漁業 106 (33.1)	縄漁業 46 (14.4)	網漁業 65 (20.3)	
定置網 15 (4.7)	養殖業 22 (6.9)	その他漁業 66 (20.6)	
			計 320 (100)

2. 漁業についてどう考えるか。

(1) 職業として

代々の職業である 35 (12.8)	やり甲斐がある 164 (59.9)	
他に職業がない 56 (20.4)	その他 19 (6.9)	計 274 (100)

(2) 将来性について

希望がもてる 114 (42.2)	やっと食べるだけ 109 (40.4)	
漁業では食べて行けない 34 (12.6)	その他 13 (4.8)	計 270 (100)

3. 今後も漁業を続けるか。

(1) はい	漁業は代々の職業 25 (8.7)	漁業に自信をもつ 62 (21.5)
	やり方によって将来性がある 114 (39.4)	兼業すれば食べて行ける 40 (13.8)
	今更他の職業はできない 42 (14.5)	その他 6 (2.1)
		計 289 (100)

(2) いいえ	漁業には将来性がない 9 (27.3)	漁業では食べて行けない 10 (30.3)
	よい職業に変わりたい 5 (15.2)	子供のために変わりたい 3 (9)
	その他 6 (18.2)	計 33 (100)

4. 漁業を続ける場合、今の状態をどうするか。

今のまま続けたい 83 (26.3)	経営規模を拡大したい 37 (11.7)	
漁船の大型化 76 (24.1)	複船経営 19 (6)	沖合進出 15 (4.7)
他漁業と兼業 17 (5.4)	養殖兼業 55 (17.4)	観光兼業 5 (1.6)
加工兼業 3 (0.9)	その他 6 (1.9)	計 316 (100)

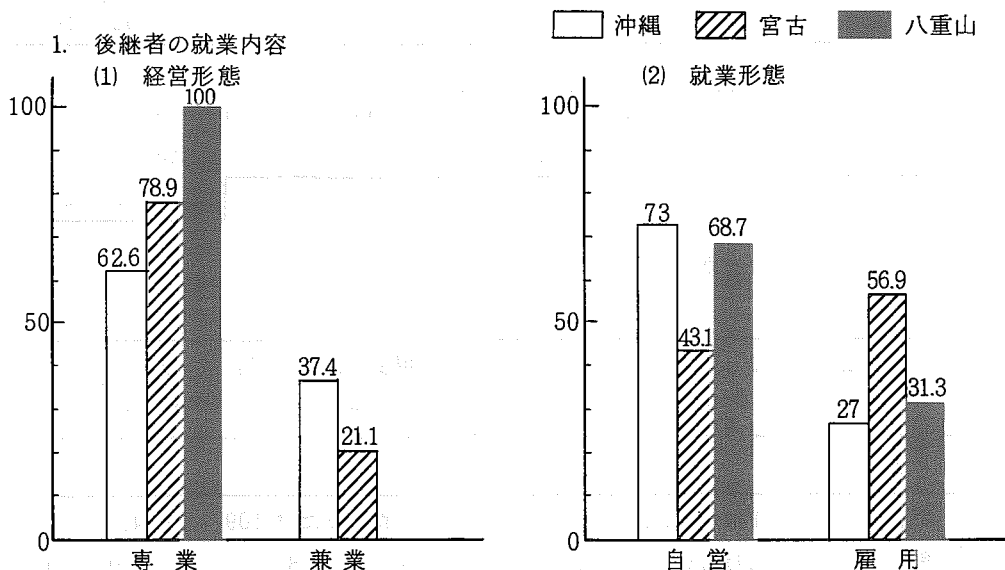
5. 他の漁業に転換したい。

釣漁業 34 (44.2)	網漁業 2 (2.6)	縄漁業 23 (29.8)
沖合漁業 (-)	養殖業 18 (23.4)	計 77 (100)

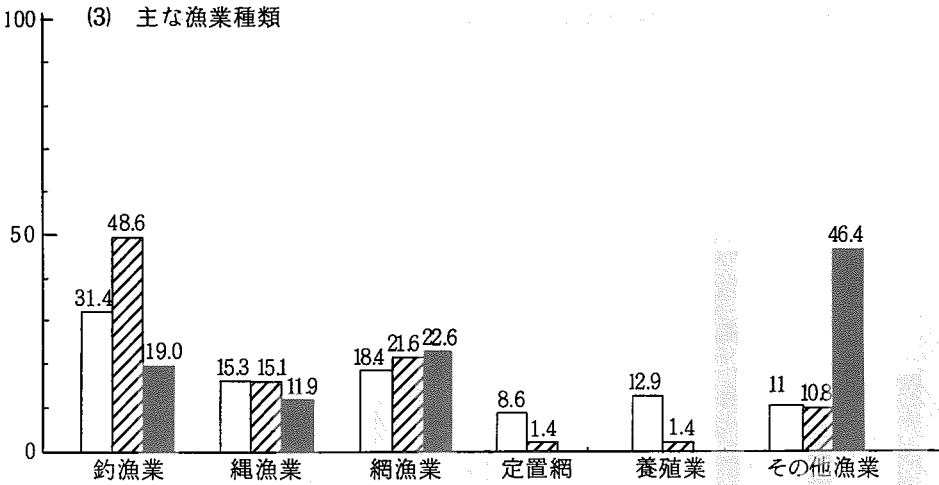
6. 習得したい知識や技能

新しい漁具・漁法 94 (46)	養殖技術 49 (24)	加工技術 10 (4.9)
流通技術 5 (2.5)	船舶職員資格 35 (17.2)	その他の技術資格 11 (5.4)
		計 204 (100)

表：2 後継者意識調査表（沖縄、宮古、八重山）

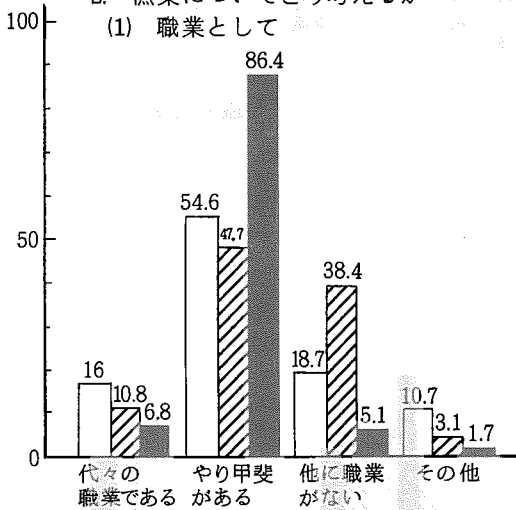


(3) 主な漁業種類

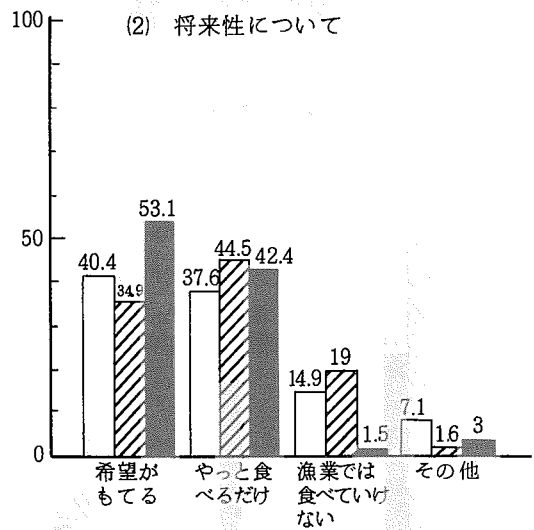


2. 漁業についてどう考えるか

(1) 職業として

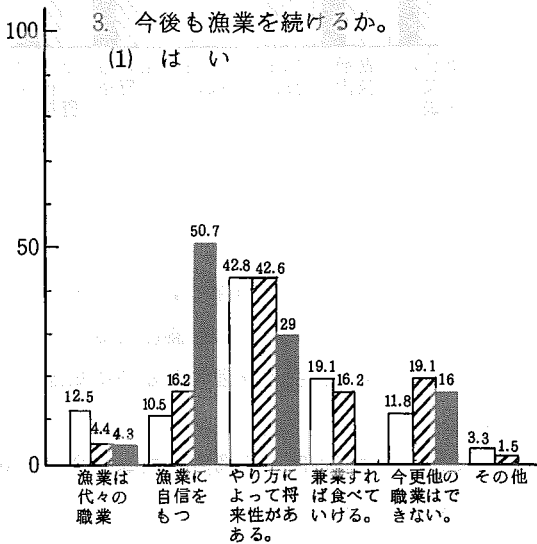


(2) 将来性について

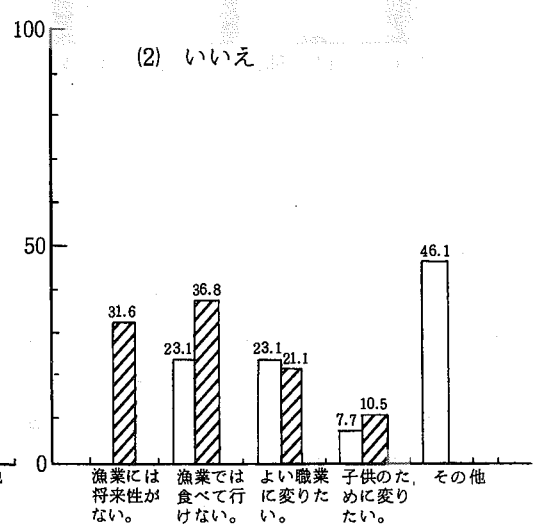


3. 今後も漁業を続けるか。

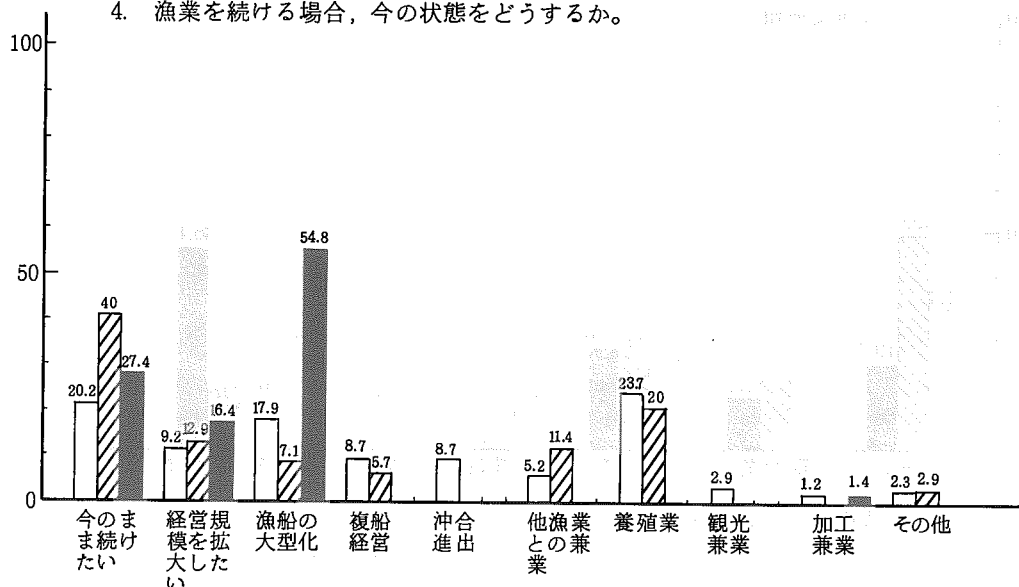
(1) はい



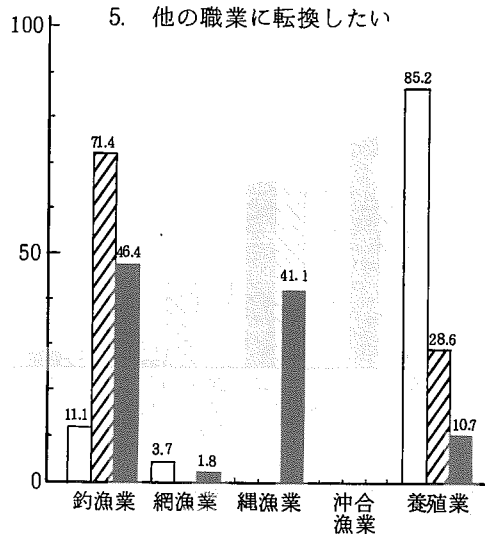
(2) いいえ



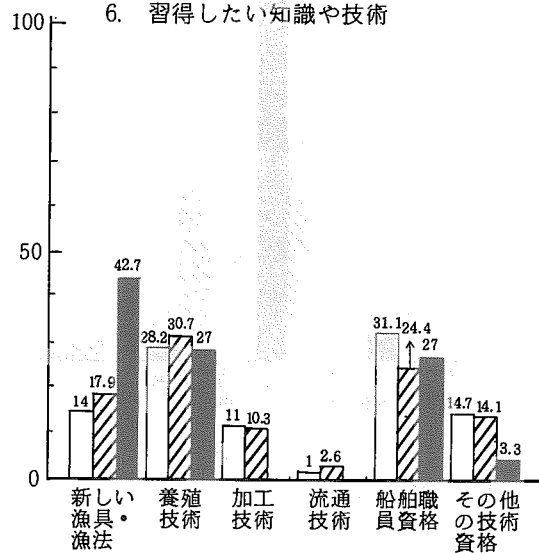
4. 漁業を続ける場合、今の状態をどうするか。



5. 他の職業に転換したい



6. 習得したい知識や技術



4 まとめ

本調査は、漁業後継者世代の意識の実体を明らかにしたものであり、調査によって若者の漁業継続に対する意欲と漁業を見直す意識が旺盛であることがうかがえる。これを盛位てるためには、漁業の将来に対する指導方向を明確にし、グループ組織を充実し、生産経営改善並びに知識・技能の習得を実現できる措置をとることが急務である。

また、彼らを孤立させることなく、一般社会の一員として意識の向上を高め、地域の発展に寄与する漁業後継者の育成を図り、今後の活動に大きく期待するものである。

漁業後継者意識調査集計表 (昭和54年8月末日)

市町村及び漁協				
石川市	沖繩市	名護市	糸満市	今帰仁村
17 (件) 4 (23.5%)	8 (件) 4 (50%)	35 (件) 33 (94.3%)	50 (件) 31 (62%)	10 (件) 10 (100%)
恩納村	読谷村	具志頭村	知念村	久米島
21 (件) 21 (100%)	15 (件) 7 (46.7%)	10 (件) 2 (20%)	41 (件) 26 (63.4%)	15 (件) 14 (93.3%)
沖繩	宮古	八重山	泉	
256 (件) 172 (67.2%)	74 (件) 60 (81.1%)	158 (件) 67 (42.4%)	488 (件) 299 (61.3%)	

漁業後継者意識調査集計表（県内）

問	区 分	青少年（男子）						比 率（％）					
		～ 19才	20～ 24才	25～ 29才	30～ 34才	35～ 39才	計	～ 19才	20～ 24才	25～ 29才	30～ 34才	35～ 39才	計
母 集 団													
調査対象数		22	58	111	118	179	488						
調査数		11	43	56	64	125	299						
抽出率		50	74.1	50.5	54.2	69.8	61.3						
問 1 後継者の経歴と就業の内容													
4 経営形態													
漁業専業		10	34	40	39	75	198	5.1	17.2	20.2	19.7	37.8	100
漁業兼業		1	4	11	13	35	64	1.5	6.3	17.2	20.3	54.7	100
計		11	38	51	52	110	262	4.2	14.5	19.5	19.8	42	100
5 就業形態													
自 営		2	17	31	35	86	171	1.2	9.9	18.1	20.5	50.3	100
雇 用		9	24	18	16	24	91	9.9	26.4	19.8	17.6	26.3	100
計		11	41	49	51	110	262	4.2	15.6	18.7	19.5	42	100
6 漁業経歴													
5 年未滿		11	29	13	10	9	72	15.3	40.3	18	13.9	12.5	100
5 ～ 9 年		-	10	27	15	21	73	-	13.7	37	20.5	28.8	100
10 ～ 14 年		-	-	12	17	13	42	-	-	28.6	40.5	30.9	100
15 年以上		-	-	-	13	68	81	-	-	-	16	84	100
計		11	39	52	55	111	268	4.1	14.6	19.4	20.5	41.4	100

区 分	青少年 (男子)					比率 (%)						
	19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	計	19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	計
7 主な漁業種類												
ア 釣漁業	4	12	23	22	45	106	38	11.3	21.7	20.8	42.4	100
イ 縄漁業	-	4	10	10	22	46	-	8.8	21.7	21.7	47.8	100
ウ 網漁業	3	11	12	16	23	65	4.6	16.9	18.5	24.6	35.4	100
エ 定置網	-	4	2	4	5	15	-	26.7	13.3	26.7	33.3	100
オ 養殖業	-	1	8	4	9	22	-	4.5	36.4	18.2	40.9	100
魚 貝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚 貝	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	100	100
藻	-	1	-	3	3	7	-	14.2	-	42.9	42.9	100
その他	-	-	1	-	1	2	-	-	50	-	50	100
計	-	1	1	3	5	10	-	10	10	30	50	100
カ その他漁業	4	11	11	11	29	66	6	16.7	16.7	16.7	43.9	100
計	11	43	66	67	133	320	3.5	13.4	20.6	20.9	41.6	100
問2 職場と居住の両面からみて、現在の生活の場を住みよいと思うか												
1 はい	1	4	7	10	14	36	28	11.1	19.4	27.8	38.9	100
(理由)												
ア 漁もあるし住みよい	1	-	14	15	31	61	1.6	-	23	24.6	50.8	100
イ 環境がよい	2	5	8	8	21	44	4.5	11.4	18.2	18.2	47.7	100
ウ 職場に恵まれている	7	19	15	15	23	79	8.9	24	19	19	29.1	100
エ 住みなれている	9	17	21	24	58	129	6.9	13.2	16.3	18.6	45	100
オ 都市が近くて便利である	-	2	2	1	2	7	-	28.6	28.6	14.2	28.6	100
カ 今更よそに行く気がしない	-	-	5	6	24	35	-	-	14.3	17.1	68.6	100

問	区 分	青少年 (男子)					比 率 (%)						
		19才	20才 24才	25才 29才	30才 34才	35才 39才	計	19才	20才 24才	25才 29才	30才 34才	35才 39才	計
キ	先祖の地である	-	1	1	4	13	19	-	5.3	5.3	21	68.4	100
ク	その他の	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	100	100
	計	19	44	66	73	174	376	5.1	11.7	17.5	19.4	46.3	100
2	いいえ (理由)	-	-	3	-	3	6	-	-	50	-	50	100
ア	環境が悪くて漁がない	-	-	1	-	4	5	-	-	20	-	80	100
イ	仕事が少ない	-	-	2	2	1	5	-	-	40	40	20	100
ウ	生活が厳しい	-	1	-	2	4	7	-	14.3	-	28.6	57.1	100
エ	地理的に不便	-	3	4	3	4	14	-	21.4	28.6	21.4	28.6	100
オ	将来性がない	-	-	2	1	2	5	-	-	40	20	40	100
カ	娯楽が少ない	-	-	-	1	1	2	-	-	-	50	50	100
キ	その他の	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	100	100
	計	-	4	9	9	17	39	-	10.3	23.1	23.1	43.5	100
3	どちらでもない (理由)	-	1	1	2	3	7	-	14.3	14.3	28.6	42.8	100
ア	環境はよいが漁が少ない	-	1	-	2	2	5	-	20	-	40	40	100
イ	住みなれているが公害がある	-	-	1	1	-	2	-	-	50	50	-	100
ウ	どこでも同じ	-	1	1	-	2	4	-	25	25	-	50	100
エ	その他の	-	2	-	1	2	5	-	40	-	20	40	100
	計	-	4	2	4	6	16	-	25	12.5	25	37.5	100
問3	漁業についてどう考えるか												
1	職業として	1	6	3	9	16	35	2.9	17.1	8.6	25.7	45.7	100
ア	代々の職業である												

問	区 分	青少年 (男子)					比 率 (%)						
		19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計	～19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計
イ	漁業はやり甲斐がある	11	24	37	32	60	164	6.7	14.6	22.6	19.5	36.6	100
ウ	他の職業がないからやっている	-	5	12	12	27	56	-	9	21.4	21.4	48.2	100
エ	その他	-	4	3	4	8	19	-	21.1	15.7	21.1	42.1	100
	計	12	39	55	57	111	274	4.5	14.2	20	20.8	40.5	100
2	将来性について												
ア	漁業は希望がもてる	7	22	19	26	40	114	6.1	19.3	16.7	22.8	35.1	100
イ	やっと食べるだけ	3	13	24	17	52	109	2.8	11.9	22	15.6	47.7	100
ウ	漁業では食べていけない	-	1	7	9	17	34	-	2.9	20.6	26.5	50	100
エ	その他	1	4	1	2	5	13	7.7	30.8	7.7	15.4	38.4	100
	計	11	40	51	54	114	270	4.1	14.8	18.9	20	42.2	100
問4	子供にも漁業をやらせるか												
1	子供にも従事させたい	-	-	2	1	3	6	-	-	33.3	16.7	50	100
	(理由)												
ア	代々漁師なので継ぐのは当然だ	-	-	2	-	1	3	-	-	66.7	-	33.3	100
イ	すでに漁業に従事している	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	100	100
ウ	子供は漁業が好きだ	-	-	2	-	6	8	-	-	25	-	75	100
エ	技術的に進歩したので希望がもてる	-	-	1	2	4	7	-	-	14.3	28.6	57.1	100
オ	危険もあるがもっと機械化すればよい	-	-	1	1	-	2	-	-	50	50	-	100
カ	経営を大きくしたい	-	-	2	1	3	6	-	-	33.3	16.7	50	100
キ	人手不足で他人が雇えない	-	-	-	1	2	3	-	-	-	33.3	66.7	100
ク	子供と一緒に仕事がしたい	-	1	2	1	5	9	-	11.1	22.2	11.1	55.6	100
ケ	家を継いで老後の面倒をみてもらう	-	-	2	-	1	3	-	-	33.3	-	66.7	100
コ	その他	-	-	1	-	-	1	-	-	100	-	-	100

問	区 分		青少年 (男子)					比 率 (%)				
	~19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~34才	計	~19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	計
2	計											
	1	13	6	26	46	-	2.2	28.3	13	56.5	100	
	-	6	6	7	19	-	-	31.6	31.6	36.8	100	
	-	-	-	1	1	-	-	-	-	100	100	
ア	1	1	4	6	12	-	8.3	8.3	33.4	50	100	
イ	1	2	4	7	14	-	7.1	14.3	28.6	50	100	
ウ	-	1	1	3	6	-	16.7	16.7	16.6	50	100	
エ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
オ	1	5	4	13	23	44	-	21.7	17.4	56.5	100	
カ	-	8	9	24	43	-	4.7	18.6	20.9	55.8	100	
キ	-	3	5	17	28	-	10.7	17.9	10.7	60.7	100	
ク	-	1	1	2	5	-	20	20	20	40	100	
ケ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コ	1	9	26	73	132	0.8	6.8	17.4	19.7	55.3	100	
	1	4	5	8	22	4.5	18.2	18.2	22.7	36.4	100	
3	計											
	10	16	14	7	79	12.7	40.5	20.3	17.7	8.8	100	
ア	-	3	-	3	6	-	-	50	-	50	100	
イ	-	6	16	39	63	-	3.2	9.5	25.4	61.9	100	
ウ	-	1	2	2	5	-	-	20	40	40	100	
エ	10	26	32	51	153	6.5	22.3	17	20.9	33.3	100	

問	区 分	青少年 (男子)					比 率 (%)						
		19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計	19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計
問5	あなたは今後も漁業を続けますか												
1	はい (理由)	1	4	10	10	15	40	2.5	10	25	25	37.5	100
ア	漁業は代々の職業だ	2	2	5	7	9	25	8	8	20	28	36	100
イ	漁業に自信をもっている	1	7	14	10	30	62	1.6	11.3	22.6	16.1	48.4	100
ウ	やり方によっては将来性がある	7	22	21	23	41	114	6.1	19.3	18.4	20.2	36	100
エ	漁業以外も兼業すれば食べていける	1	1	10	7	21	40	2.5	2.5	25	17.5	52.5	100
オ	今更他の職業につくことはできない	-	3	7	7	25	42	-	7.1	16.7	16.7	59.5	100
カ	その他の	1	2	1	-	2	6	16.7	33.3	16.7	-	33.3	100
	計	12	37	58	54	128	289	4.2	12.8	20	18.7	44.3	100
2	いいえ (理由)	-	1	1	2	3	7	-	14.3	14.3	28.6	42.8	100
ア	漁業には将来性がない	-	-	1	2	6	9	-	-	11.1	22.2	66.7	100
イ	漁業では食べていけない	-	2	-	-	8	10	-	20	-	-	80	100
ウ	他により職業を見付けて変わりたい	-	1	-	-	4	5	-	20	-	-	80	100
エ	子供のために早く変わりたい	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	100	100
オ	その他の	-	1	1	2	2	6	-	16.7	16.7	33.3	33.3	100
	計	-	4	2	4	23	33	-	12.1	6.1	12.1	69.7	100
問6	漁業を続ける場合今の状態をどうしたいか												
1	今のまま続けたい	4	12	19	14	34	83	4.8	14.5	22.9	16.9	40.9	100
2	経営規模を拡大したい (内容)	-	8	8	8	13	37	-	21.6	21.6	21.6	35.2	100
ア	漁船の大型化	4	16	15	13	28	76	5.3	21.1	19.7	17.1	36.8	100

問	区 分					青少年 (男子)					比 率 (%)							
	19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	計	19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	計	19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	計
1 復船経営	2	-	4	5	8	19	10.5	-	21.1	26.3	42.1	100	-	-	21.1	26.3	42.1	100
ウ 沖合漁業進出	1	1	6	4	3	15	6.7	6.7	40	26.6	20	100	-	-	40	26.6	20	100
エ 他漁業兼業	-	2	2	8	5	17	-	11.8	11.8	47	29.4	100	-	-	11.8	47	29.4	100
オ 養殖兼業	-	4	7	10	34	55	-	7.3	12.7	18.2	61.8	100	-	-	12.7	18.2	61.8	100
カ 観光漁業兼業	-	-	3	1	1	5	-	-	60	20	20	100	-	-	60	20	20	100
キ 加工兼業	-	-	-	1	2	3	-	-	-	33.3	66.7	100	-	-	-	33.3	66.7	100
ク その他	-	1	2	-	3	6	-	16.7	33.3	-	50	100	-	-	33.3	-	50	100
計	7	24	39	42	84	196	3.6	12.2	19.9	21.4	42.9	100	-	-	19.9	21.4	42.9	100
3 経営規模を縮小したい	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	100	100	-	-	-	-	100	100
(内容)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ア 漁船小型化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イ 漁船隻数減少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウ 漁業種類整理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エ 養殖業整理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オ 観光漁業整理	-	-	1	-	1	2	-	-	50	-	50	100	-	-	50	-	50	100
カ 加工業整理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キ その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	-	-	1	3	4	11	-	9.1	27.3	27.3	36.3	100	-	-	27.3	27.3	36.3	100
4 他の漁業に転換したい	-	1	3	3	4	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(内容)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ア 釣漁業	3	9	7	2	13	34	8.8	26.5	20.6	5.9	38.2	100	-	-	20.6	5.9	38.2	100
イ 網漁業	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	100	100	-	-	-	-	100	100
ウ 縄漁業	3	9	4	1	6	23	13	39.1	17.4	4.4	26.1	100	-	-	17.4	4.4	26.1	100

問	区 分					青少年 (男子)					比 率 (%)							
	19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計	19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計	19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計
エ 沖合漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オ 養殖業	-	3	3	4	8	18	-	16.7	16.7	22.2	44.4	100	-	16.7	16.7	22.2	44.4	100
イ 魚	-	-	-	1	2	3	-	-	-	33.3	66.7	100	-	-	-	33.3	66.7	100
ロ 貝	-	1	-	-	-	1	-	100	-	-	-	100	-	100	-	-	-	100
ハ 藻	-	1	3	2	3	9	-	11.2	33.3	22.2	33.3	100	-	11.2	33.3	22.2	33.3	100
ニ その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ホ 計	-	2	3	3	5	13	-	15.4	23.1	23.1	38.4	100	-	15.4	23.1	23.1	38.4	100
カ 小型定置網	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キ その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ク 計	6	21	14	7	29	77	7.8	27.3	18.2	9.1	37.6	100	7.8	27.3	18.2	9.1	37.6	100
問7 これから習得したい知識や技能があるか	-	-	9	6	19	34	-	-	26.5	17.6	55.9	100	-	-	26.5	17.6	55.9	100
1 い い え	-	-	8	10	14	42	4.8	19	19	23.8	33.4	100	4.8	19	19	23.8	33.4	100
2 は い	4	17	19	21	33	94	4.3	18.1	20.2	22.3	35.1	100	4.3	18.1	20.2	22.3	35.1	100
ア 新しい漁具、漁法	-	3	11	12	23	49	-	6.1	22.5	24.5	46.9	100	-	6.1	22.5	24.5	46.9	100
イ 養殖技術	1	1	4	6	5	17	5.9	5.9	23.5	35.3	29.4	100	5.9	5.9	23.5	35.3	29.4	100
ロ 魚	-	2	2	3	5	12	-	16.7	16.7	25	41.6	100	-	16.7	16.7	25	41.6	100
ハ 貝	1	11	7	6	28	53	1.9	20.8	13.2	11.3	52.8	100	1.9	20.8	13.2	11.3	52.8	100
ニ 藻	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	100	100	-	-	-	-	-	100
ホ その他	2	14	13	15	39	83	2.4	16.9	15.7	18.1	46.9	100	2.4	16.9	15.7	18.1	46.9	100
ヘ 計	-	1	1	-	8	10	-	10	10	10	80	100	-	10	10	10	80	100
ト 加工技術	-	-	2	1	2	5	-	-	40	20	40	100	-	-	40	20	40	100
チ 練製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問	区 分					青少年 (男子)					比 率 (%)								
	19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	計	19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	計	19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	計	
乾 製 品	-	-	-	1	5	6	-	-	-	-	-	6	-	-	-	16.7	83.3	100	
塩 蔵 品	-	2	4	3	9	18	-	11.1	22.2	16.7	50	100	-	-	-	16.7	50	100	
餌 料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
そ の 他	-	1	1	-	-	2	-	-	50	-	-	100	-	-	-	-	-	100	
計	-	3	7	5	16	31	-	9.7	22.6	16.1	51.6	100	-	-	-	16.1	51.6	100	
エ 流 通 技 術	-	1	1	1	2	5	-	20	20	20	40	100	-	-	-	20	40	100	
オ 船 舶 職 員 資 格	3	7	7	6	12	35	8.6	20	20	17.1	34.3	100	-	-	-	17.1	34.3	100	
小 型 船 舶 操 縦 士	6	7	11	8	12	44	13.6	15.9	25	18.2	27.3	100	-	-	-	18.2	27.3	100	
航 海 士	-	1	1	-	7	9	-	11.1	11.1	-	77.8	100	-	-	-	-	77.8	100	
機 関 士	-	1	-	-	3	4	-	-	-	25	75	100	-	-	-	-	25	75	100
通 信 士	4	12	7	8	13	44	9.1	27.3	15.9	18.2	29.5	100	-	-	-	18.2	29.5	100	
計	10	21	19	16	35	101	10	21	19	16	34	100	-	-	-	16	34	100	
カ その他技術資格	-	1	4	3	3	11	-	9	36.4	27.3	27.3	100	-	-	-	27.3	27.3	100	
港 水 士	-	3	7	6	7	23	-	13.1	30.4	26.1	30.4	100	-	-	-	26.1	30.4	100	
冷 凍 保 安 責 任 者	-	1	2	2	1	6	-	16.7	33.3	33.3	16.7	100	-	-	-	33.3	16.7	100	
危 険 物 取 扱 者	-	1	1	4	2	8	-	12.5	12.5	50	25	100	-	-	-	50	25	100	
自 動 車 整 備 士	1	-	-	-	-	1	100	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	100	
自 動 車 運 転 者	1	3	2	-	3	9	11.2	33.3	22.2	-	33.3	100	-	-	-	-	33.3	100	
技 能 士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新 しい 漁 具、漁 法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
釣 漁 業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
繩 網	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

問	区 分	青少年 (男子)					比 率 (%)						
		19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計	～19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計
ク	定置網漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ケ	計	-	-	-	-	1	-	-	-	-	100	-	100
	その他の技能資格	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	税理士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中小企業断士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	公害防止管理者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ケ	社会保険労務士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
問 8	あなたは部落内のいろいろの集会に出席しているか	4	12	15	15	38	84	4.7	14.3	17.9	17.9	45.2	100
	1 よく出席している	5	20	21	26	59	131	3.9	15.3	16	19.8	45	100
	2 時々出席している	1	5	15	7	18	46	2.7	10.9	32.6	15.2	39.1	100
	3 殆んど出席していない	-	1	6	9	32	48	-	2.1	12.5	18.8	66.6	100
	4 出席する集会の内容	-	-	2	1	4	7	-	-	28.6	14.3	57.1	100
ア	部落総会	6	15	9	15	36	81	7.4	18.5	11.1	18.5	44.5	100
	部落寄合	1	-	2	6	11	20	5	-	10	30	55	100
	～6回	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
イ	7～12回	-	-	-	2	-	2	-	-	-	100	-	100
	13回以上	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-

問	区 分	青少年 (男子)					比 率 (%)						
		19才	20才 24才	25才 29才	30才 34才	35才 39才	計	19才	20才 24才	25才 29才	30才 34才	35才 39才	計
		7	15	11	23	47	103	6.8	14.6	10.7	22.3	45.6	100
		-	-	3	3	10	16	-	-	18.8	18.7	62.5	100
		1	13	26	34	69	143	0.7	9.1	18.2	23.8	48.2	100
		1	4	2	7	2	16	6.3	25	12.5	43.7	12.5	100
		4	21	8	5	4	42	9.5	50	19	12	9.5	100
		-	1	2	-	3	6	-	16.7	33.3	-	50	100
		-	-	1	-	-	1	-	-	100	-	-	100
		4	22	11	5	7	49	8.2	44.9	22.4	10.2	14.3	100
		-	-	1	1	3	5	-	-	20	20	60	100
		-	1	3	3	6	13	-	7.7	23.1	23.1	46.1	100
		-	-	1	-	-	1	-	-	100	-	-	100
		-	1	4	3	6	14	-	7.1	28.6	21.4	42.9	100
		-	1	1	-	3	5	-	20	20	-	60	100
		1	3	-	1	-	5	20	60	-	20	-	100
		-	2	4	-	-	6	-	33.3	66.7	-	-	100
		-	1	1	-	-	2	-	50	50	-	-	100
		1	6	5	1	-	13	7.7	46.1	38.5	7.7	-	100
		-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	100	100
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問	区 分		青少年 (男子)					比 率 (%)				
	～19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計	～19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計
ケ 消防団寄合	-	-	-	2	3	5	-	-	-	40	60	100
コ 同好サークル	-	-	5	3	1	9	-	-	55.6	33.3	11.1	100
～6回	-	-	-	1	-	1	-	-	-	100	-	100
7～12回	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	100
13回以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	-	1	-	1	-	2	-	50	-	50	-	100
サ その他	-	-	1	1	6	8	-	-	12.5	12.5	75	100
回数別計												
(イ、オ、カ、キ、ク、ケ)												
～6回	11	39	20	24	46	140	7.8	27.9	14.3	17.1	32.9	100
7～12回	1	3	9	6	14	33	3	9.1	27.3	18.2	42.4	100
13回以上	-	1	2	2	-	5	-	20	40	40	-	100
計	12	43	31	32	60	178	6.7	24.2	17.4	18	33.7	100

調 査 結 果 の 概 要

調査を実施したのは県内6市10村における調査対象母集団は、488名で調査実施数が299名であった。今回の漁業後継者のうち婦女子を除き市町村、漁業協同組合の漁家台帳より抽出された漁業者個々についてアンケート調査を行なった。

第1表：年令階層別の人員構成

項目 \ 年令	～19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	計
アンケート母集団	22 (4.5)	58 (11.9)	111 (22.7)	118 (24.2)	179 (36.7)	488 (100%)
調査対象数	11 (3.7)	43 (14.4)	56 (18.7)	64 (21.4)	125 (41.8)	299 (100%)
抽出率	50	74.1	50.5	54.2	69.8	61.3%

アンケート母集団の年令階層別人員数は、調査実数とほぼ同じ率を示し、また抽出率が61%に達したことは、後継者の今後の動態を知る上からも参考になった。

1 後継者の就業内容

第2表：経営並びに就業形態

項目別	県内	沖繩	宮古	八重山
専業	75.6%	62.6%	78.9%	100%
兼業	24.4	37.4	21.1	-
自営	65.3	73	43.1	68.7
雇用	34.7	27	56.9	31.3

- (1) 経営形態を年令階層別にみると、県内で専業は75.6%うち30才未満42.4%、40才未満57.6%になっている。兼業は24.4%年令別には30才未満25%、40才未満75%で高年令とともに増える傾向がある。
- (2) これを群島別の年令層では専業が沖繩で30才未満43.7%、40才未満56.3%と宮古で20%、80%、八重山では殆んど漁家が専業で経営を行なっている。
- (3) 兼業では、沖繩で30才未満26.9%、40才未満73.1%と宮古は16.7%、83.3%と八重山が兼業はなく年間操業の形態をとり漁業に従事していることがうかがえる。
- (4) 就業形態は、県内で自営が65.3%で年令別にみると30才未満29.2%、40才未満70.8%になり、高年令化するにつれ自営が増加する傾向を示している。逆に雇用では34.7%で30才未満56%、40才未満44%を示し、地域差は多少あろうが県全体としてはほぼ半々になっている。

(5) これを群島別に見る限り、沖縄で自営が最も多く73%、八重山が68.7%、宮古43.1%になり、雇用では八重山31.3%、沖縄27%、宮古が逆に56.9%地域での経営特色が現われている。

就業内容について一般に考えられることは

- ① 沖縄地区では高年令とともに兼業の形態をとっていることは島内、離島での半農半漁のほか最近では養殖業、鮮魚商（刺し身屋）を兼ねる者が多く、さらに雇用面では年令別に見ても約半数54.1%、45.9%になりこれらは業態別からくる雇用形態によることがうかがわれる。（各種追込等）
 - ② 宮古地区で専業が78.9%、兼業が21.1%で年令別には40才未満が80%と30才未満が20%でその開きは専業の定着を示し、逆に就業面では自営が43.1%、雇用が56.9%になっている。
- 自営に多い高年層96%は、特殊技術（カツオ釣、追込）を要するものと考えられるが雇用では逆に若年層が多いのは、カツオ釣漁業に長期従事者が多いのではないかと思われる。
- ③ 八重山地区は、ほとんどが専業であり、就業形態では自営が68.7%と雇用が31.3%で年令別にみると30才未満が37%、40才未満が63%となり雇用では30才未満が95.2%で若年層に多く良い意味での後継者に期待される。

表3：主な漁業種類

地域別 漁業種別	県内	沖繩	宮古	八重山
釣漁業	106 (33.1)	54 (33.1)	36 (49.3)	16 (19)
縄漁業	46 (14.4)	25 (15.3)	11 (15.1)	10 (11.9)
網漁業	65 (20.3)	30 (18.4)	16 (21.9)	19 (22.7)
定置網	15 (4.7)	14 (8.6)	1 (1.4)	-
養殖業	22 (6.9)	21 (12.9)	1 (1.4)	-
その他漁業	66 (20.6)	19 (11.7)	8 (10.9)	39 (46.4)
計	320 (100)	163 (100)	73 (100)	184 (100)

沿岸漁業の特色として、釣、網、延縄漁業のほか、その他漁業（潜水）が主体になっている。釣漁業は沖縄、宮古で82.4%と大半を占め、縄漁業は各地域ともやや平均を保ち、網漁業では宮古、八重山で44.5%と特に各種追い込み網、敷網（かつお餌料）等、漁期による変動がうかがわれる。

定置網、養殖業については沖縄本島に片寄り、前述の事業とも併行して複業経営の方向に歩みつつある。その他漁業で八重山の46%はほこ突、潜水、曳縄等網漁業を加えれば、この業種が八重山地域の特色した経営形態になっている。

養殖業は、ほとんど海藻類で高年令者に多く61.9%を示して、経営、技術的な内容をもつものと思う。

- ① 漁業種別の年令構成をみると養殖、その他漁業を除き、30才未満で釣漁業48.2%、縄漁

業 36%、網漁業 33.4%、定置網 42.8%、40才未満で 51.8%、64%、66.6%、57.2% となり、当然のことながら高年令層がそれぞれ熟練した技術と多年の経営経験を維持している。

② 全般に言えることは、年間操業体制作りと複業的経営方法がなされれば構成率も大きく変化すると思う。

2 漁業についてどう考えるか

第4表：職業意識と将来性について

項目別		地域別			
		県内	沖縄	宮古	八重山
職業として	代々の職業である	35 (12.8)	24 (16)	7 (10.8)	4 (6.8)
	やり甲斐がある	164 (59.9)	82 (54.7)	31 (47.7)	51 (86.4)
	他に職業がない	56 (20.4)	28 (18.7)	25 (38.5)	3 (5.1)
	その他	19 (6.9)	16 (10.6)	2 (3)	1 (1.7)
	計	274 (100%)	150 (100%)	65 (100%)	59 (100%)
将来性について	希望もてる	114 (42.2)	57 (40.4)	22 (34.9)	35 (53)
	やっと食べるだけ	109 (40.4)	53 (37.6)	28 (44.5)	28 (42.4)
	漁業では食べていけない	34 (12.6)	21 (14.9)	12 (19)	1 (1.5)
	その他	13 (4.8)	10 (7.1)	1 (1.6)	2 (3.1)
	計	270 (100%)	141 (100%)	63 (100%)	66 (100%)

- (1) 職業として漁業に対する意識は「代々の職業」とする伝承義務的な考え方が各地域とも10%内外で案外少ないこと、戦後の若者達の考え方としてとらえるが注目すべきは「漁業はやり甲斐がある」とする積極的意見が50%内外、特に八重山地区での86.4%は特筆される。
- (2) 年令階層別にみると、伝承的義務感について40才未満で71.4%「やり甲斐がある」については、ほぼ同意見の50%内外になっている。しかし地域環境条件により「他に職業がない」とするものが高年令層に69.6%もあるのは、前述の伝承的義務感も影響されよう。
- (3) 将来性について漁業に対する意欲はあるが「やっと食べるだけ」とする者が40.4%で「希望もてる」と考えているのは42.2%になっている。なかでも「漁業では食べていけない」と悲観的な考え方は12.6%あるのが気にかかるが、調査の段階では生活にさほど支障がないと解され、沿岸漁業者は、漁業の将来性に大きな期待をもっていると考えられる。
- (4) 年令階層別では「やっと食べるだけ」とする者が63.3%と高令化とともに増加するのは「生活、教育、住宅費のほか漁船建造、漁具等の購入資金の返済」が主な支出面となり、今後は漁業経営、生活設計等に工面される。これらは、今後の指導方向を沿岸漁業者等の生産意欲の向上と生活改善樹立をはからねばならない。

3 今後も漁業を続けるか

第5表：漁業を続ける理由

理 由	県 内	沖 縄	宮 古	八 重 山
積極的	74.7%	72.4%	75%	79.7%
漁業に自信をもつ	62 (21.5)	16 (10.5)	11 (16.2)	35 (50.7)
やり方で将来性がある	114 (39.4)	65 (42.8)	29 (42.6)	20 (29)
兼業すれば食べられる	40 (13.8)	29 (19.1)	11 (16.2)	— (—)
消極的	25.3%	27.6%	25%	20.3%
代々の職業	25 (8.7)	19 (12.5)	3 (4.4)	3 (4.3)
今更他の職業につけない	42 (14.5)	18 (11.8)	13 (19.1)	11 (16)
そ の 他	6 (2.1)	5 (3.3)	1 (1.5)	— (—)
計	289 (100%)	152 (100%)	68 (100%)	69 (100%)

- (1) 漁業後継者の意向を確める積極的な率は75%を占め、また「今後も漁業を続けるか」に対しても40才未満に62.5%の過半数を占めていることは、漁業への継続意欲が十分うかがわれ、消極的意見は25.3%であるが、前述のように年齢階層別では、高令化とともに漁業に対する不安が多く71.4%を占める。
- (2) しかし「やり方で将来性がある」とする希望派が最も多く289名中114名で39.4%を占め年齢階層別では30才未満が43.8%、40才未満が56.2%で高令化したがい積極的で支配的意見となっているのは希望がもてる。

第6表：継続しない理由

理 由	県 内
漁業は将来性がない	9 (27.3%)
漁業では食べていけない	10 (30.3%)
よい職業に変わりたい	5 (15.2%)
子供のために変わりたい	3 (9%)
そ の 他	6 (18.2%)
計	33 (100%)

- (1) 継続したくないと考えるものが30才未満で28.6%、40才未満で71.4%あり、それぞれ年齢層によって相違があり全体的にみると「食べていけない」とする意見が最も多く30.3%、次に「漁業は将来性がない」が27.3%となっている。
- (2) 「子供のために変わりたい」の設問に対しては9%と少なく、今後は営漁指導が適切に行なわれれば、漁業継続の意欲は強くまたこれが次世代へ強く反映されると思う。

4 漁業を続ける場合、今の状態をどうするか

第7表：継続する場合の希望

内 容	県 内	沖 縄	宮 古	八 重 山
今のまま続けたい	83 (26.3%)	35 (20.2%)	28 (40%)	20 (27.4%)
経営規模を拡大したい	37 (11.7)	16 (9.2)	9 (12.9)	12 (16.4)
漁船の大型化	76 (24.1)	31 (17.9)	5 (7.1)	40 (54.8)
複船の経営	19 (6)	15 (8.7)	4 (5.7)	— (—)
沖合漁業進出	15 (4.7)	15 (8.7)	— (—)	— (—)
他漁業兼業	17 (5.4)	9 (5.2)	8 (11.4)	— (—)
養殖兼業	55 (17.4)	41 (23.7)	14 (20)	— (—)
観光漁業兼業	5 (1.6)	5 (2.9)	— (—)	— (—)
加工兼業	3 (0.9)	2 (1.2)	— (—)	1 (1.4)
その他	6 (1.9)	4 (2.3)	2 (2.9)	— (—)
計	316 (100%)	173 (100%)	70 (100%)	73 (100%)

- (1) 「今後も漁業を継続する」の設問のなかで「継続したくない」と少数回答もあるが、現状を改善することによっては希望がもてる意向と解される。
- (2) 「今のまま続けたい」が全体の約半数もあり、変化を望まない者が30才未満で42.2%40才未満で57.8%と年齢階層差はみられない。
- (3) なかでも養殖兼業が17.4%もあり特に沖縄、宮古では藻類の増養殖が兼業として定着されつつある。
- (4) 漁船の大型化については全体の24.1%もあり年齢階層別では40才未満が53.9%、30才未満で46.1%を占めている。

さらに地域別では八重山が最も多く地区内54.8%の希望者で漁船漁業の充実が期待される。

5 他の漁業に転換したい

第8表：転換業種調べ

内 容	県 内	沖 縄	宮 古	八 重 山
釣 漁 業	34 (44.2%)	3 (15.7%)	5 (71.4%)	26 (51%)
網 漁 業	2 (2.6)	1 (5.4)	— (—)	1 (2)
縄 漁 業	23 (29.8)	— (—)	— (—)	23 (45)
沖 合 漁 業	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
養 殖 業	18 (23.4)	15 (78.9)	2 (28.6)	1 (2)
計	77 (100%)	19 (100%)	7 (100%)	51 (100%)

- (1) 現在従事している業種から、他の漁業への転換希望は、釣漁業が最も多く全体で44.2%、縄漁業29.8%、養殖業23.4%の順位となっている。沿岸漁業のなかでそれぞれの地域の特性を現わし宮古、八重山に釣漁業が多く沖縄では養殖業の希望が過半数を占めず。
- (2) 年齢階層別では釣漁業が30才未満55.9%、40才未満44.1%、縄漁業が30才未満69.5%、40才未満30.5%を占めし、若年層に希望が多い。逆に養殖業では高令層が66.6%、若年層が33.4%とと経営技術の開きがうかがえる。
- (3) 養殖業の内容では沖縄が藻類、八重山で魚類、養殖等の希望がある。
- (4) 沿岸漁業従事者の転換は主に若年層が多いが順をおえば釣漁業→縄漁業→養殖業→網漁業→沖合漁業となり養殖業は高令層に希望がある。

6 習得したい知識や技術

第9表：習得希望内容

内 容	県 内	沖 縄	宮 古	八 重 山
新しい漁具・漁法	94 (46%)	42 (35.9%)	14 (31.1%)	38 (90.5%)
養 殖 技 術	49 (24)	41 (35)	7 (15.6)	1 (2.4)
加 工 技 術	10 (4.9)	7 (6)	3 (6.7)	- (-)
流 通 技 術	5 (2.5)	3 (2.6)	2 (4.4)	- (-)
船舶職員資格	35 (17.2)	17 (14.5)	15 (33.3)	3 (7.1)
その他の技術資格	11 (5.4)	7 (6)	4 (8.9)	- (-)
計	204 (100%)	117 (100%)	45 (100%)	42 (100%)

沿岸の漁業者にとってこれから習得したい知識や技能は将来の自立経営、経営改善を目指す意欲が述べられるものとして期待し、また、今後の指導を強化すべき項目の把握ともなっている。

- (1) 希望がない。現状で満足し新たな知識、技能の習得希望を持たない者が全体で30才未満が26.5%、40才未満が73.5%に達することは、問4の「今のまま続けたい」26.3% 問3の今後も漁業を続ける（積極性）74.7%との設問に比較して、地域別年齢別では沖縄30才未満25%、40才未満75%と宮古30才未満26.7%、40才未満73.3%で八重山30才未満27.3%、40才未満72.7%となっている。
- (2) この考え方は若年層に少なく中堅、高令層に多くなり、本県の沿岸漁業の世相を反映している。
- (3) 反面希望する。を全体的にみた場合30才未満で42.8%、40才未満で57.2%を占め習得希望内容からも漁船漁業で46%、養殖技術が24%と将来養殖兼業の希望が多いようにうかがえる。

ア 新しい漁具・漁法

漁具・漁法に関しては普及職員の介入が少ないと言われているが希望に応じえるためには、生産技術の伝承のみに止まらず今後情報機能の強化による対応が必要である。

イ、養殖技術

40才未満に多く71.4%を示めし、希望内容では魚類で30才未満35.3%、40才未満64.7%、貝類で30才未満33.4%、40才未満66.6%、藻類では30才未満35.9%、40才未満64.1%になり高令化の傾向が強い。

ウ、船舶職員資格

年令層からもそれぞれ30才未満48.6%、40才未満51.4%とほぼ同数希望があり、今後沖合進出あるいは上級資格の取得等希望がうかがえる。小型船舶操縦士が30才未満54.5%、40才未満45.5%、航海士が30才未満22.2%、40才未満77.8%、機関士が30才未満25%、40才未満75%、通信士が30才未満52.3%、40才未満47.7%の順位となっている。

操業に直接必要な船舶職員資格以外の技術資格希望は潜水士23名、冷凍保安責任者6名、危険物取扱者8名、自動車整備士1名、自動車運転者9名の順位になっている

以上

漁業者センター専門技術員室